

## 研究発表会開催通知

(平成2年1月15日～2月28日)

研究会	日 時		会場	備考
情報システム	1月16日(火)	13:00～17:10	機械振興会館	前号参照
データベース・システム	1月18日(木)	13:30～17:00	同 上	同 上
ヒューマンインタフェース	1月18日(木)	13:30～17:00	同 上	同 上
知識工学と人工知能	1月18日(木) 1月19日(金)	10:30～16:45 10:00～11:30	阪 大	同 上
自然言語処理	1月18日(木) 1月19日(金)	13:00～17:00 10:00～16:30	福岡工大	同 上
コンピュータビジョン	1月25日(木) 1月26日(金)	13:00～18:00 9:00～11:00	阪 大	同 上
計算機アーキテクチャ	1月25日(木) 1月26日(金)	13:30～21:30 9:00～12:30	芦 泉 荘	同 上
マルチメディア通信と分散処理	1月26日(金)	9:00～17:00	機械振興会館	同 上
アルゴリズム	1月31日(水)	13:00～17:00	CSK情報教育センター	同 上
ソフトウェア工学	2月8日(木) 2月9日(金)	9:00～17:00 9:00～16:20	徳 島 大	下記参照
プログラミング言語	2月9日(金)	10:00～17:30	筑 波 大	同 上
コンピュータと教育	2月15日(木)	13:00～17:00	機械振興会館	同 上
マイクロコンピュータとワークステーション	2月20日(火)	13:00～17:00	同 上	同 上
設計自動化	2月20日(火)	9:50～17:00	同 上	同 上
オペレーティング・システム	2月23日(金)	13:10～16:50	同 上	同 上
グラフィクスとCAD	2月23日(金)	10:00～17:00	同 上	同 上

## ◆ 第71回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 19件)

(主査: 原田賢一, 幹事: 宇都宮公訓, 大槻 繁, 永田守男)

日 時 平成2年2月8日(木) 9:00～17:00  
2月9日(金) 9:00～16:20

会 場 徳島大学 附属図書館 3階 視聴覚室

(徳島市南常三島町 2-1, JR: 徳島下車, 徒歩 20分, タクシー 5分, 徳島バス (乗り場 1, 3) 徳大前下車, 市営バス (乗り場 5, 6, 7) 助任橋下車. Tel. 0866 (23) 2311)

2月8日(木) —9:00～12:30—

## 議 題

(1) ソフトウェア動作仕様の段階的設計技法とその支援系

小山田正史 (IPA)

〔概要〕 ソフトの動的な仕様を段階的かつ視覚的に作成するための一設計技法の提案およびその支援環境について

て述べる。

- (2) ソフトウェア仕様記述モデルの形態学 大槻 繁 (日立)  
〔概要〕 代表的な開発技法で使用される種々の形式的仕様記述言語を体系化し、その原理的な特性を解明する。
- (3) シングルチップマイコンソフトへの簡易スケジューラの導入 西村朋子 (東芝)  
〔概要〕 シングルチップマイコンソフトの分野で、簡易スケジューラを導入した設計手法について検討する。
- (4) JSP 法を用いた設計プロセスの記録と分析 中島 毅 (三菱電機)  
〔概要〕 JSP 法を用いた実設計プロセスを PPK 法で記述した。この結果に基づき設計手法と実プロセスの関係を分析する。
- (5) 自然言語記述に基づくソフトウェア設計支援ツール  
細谷隆志 (東工大, 富士通), 若尾正樹, 金子 剛, 佐伯元司 (東工大), 榎本 肇 (芝浦工大)  
〔概要〕 自然言語による仕様中の語句をモジュール要素に対応づけ設計を行っていくための支援ツールの開発を行った。

—13 : 30~17 : 00—

- (6) 実行時エラーに関するプログラム相談システム CONSULT : R 大西 淳 (京大)  
〔概要〕 FORTRAN のプログラムの実行時エラーの原因を解析して、適切な対処法を教示するシステムについて紹介する。
- (7) 遠隔地ソフトウェア開発の実験 福田由紀雄 (東芝)  
〔概要〕 同一場所で開発したメンバが離れた場所で開発をした場合の意思伝達形態の変化等の実験結果を報告する。
- (8) グループウェア支援形態の実験的考察 貫井春美, 栗原美佐, 三原幸博 (東芝)  
〔概要〕 参与観察方式によるグループウェア実験から得たデータを基に、支援機能を考察し、機能モデルを提案する。
- (9) CASE 指向抽象ソフトウェアモデル 松本憲幸 (東芝)  
〔概要〕 CASE を想定して作成された「ソフトウェアのふるまいを抽象レベルで表現するモデル」について説明する。
- (10) エラーのライフサイクルモデル 松尾谷徹 (日電)  
〔概要〕 開発ライフサイクルにおけるエラーの発生と摘出、障害を通してモデル化する。

2月9日 (金)

—9 : 00~12 : 30—

- (11) ソフトウェア品質モデルの体系化とその適用評価 平山雅之, 佐藤弘行 (東芝)  
〔概要〕 ソフトウェア・ライフサイクル中での品質モデル・メトリクスの体系化およびその適用事例評価に関し報告する。
- (12) モジュール間依存度を組合せたプログラムの複雑度について  
梁 海 述 (韓国江原大), 辻野嘉宏, 都倉信樹 (阪大)  
〔概要〕 モジュール化プログラムの複雑度をモジュール間依存度を考慮して測定する尺度を提案し、妥当性を評価した。
- (13) プロジェクト管理シミュレーションモデルの構築と評価  
上村松男 (日本電気マイコンテクノロジー), 山田 茂, 広中正彦, 尾崎俊治 (広大)  
〔概要〕 プロジェクト管理におけるマネジメント活動モデルの構築法と、シミュレーション実行結果の有効性を評価した。
- (14) デジタル検索ソフトウェアツール 青江順一 (徳島大)  
〔概要〕 ダブル配列構造に基づくデジタル検索ソフトウェアの概念と応用方法について述べる。
- (15) ソースコード検索閲覧システム 斎藤明紀, 辻野嘉宏, 都倉信樹 (阪大)  
〔概要〕 複数のソースプログラムやマニュアル等を平行して表示し、相互に検索するツールの考察と試作について発表する。

—13:30~16:20—

- (16) アニメーションによるプロトタイピング—制約を利用したその方式— 古宮誠一 (IPA)  
〔概要〕 事務処理ソフトウェアには、制約を利用したアニメーションによるプロトタイピングが有効であることを示す。
- (17) 視覚的プログラミング環境構築ツールの開発 吉見 信, 加登基二, 西村幸治, 平川正人, 市川忠男 (广大)  
〔概要〕 視覚的プログラミング環境を対話的に構築するための構築支援ツールの開発について述べる。
- (18) ソフトウェアプロセス—実時間処理システムにおけるケーススタディー— 望月純夫, 山内 顯 (三菱スペース・ソフトウェア), 片山卓也, 鈴木正人 (東工大)  
〔概要〕 実時間処理システム開発の中で最も重要な基本設計段階のソフトウェアプロセスを解析し, そのモデル化を狙う。
- (19) 仕様記述プロセスにおける検証の一手法について 蓬萊尚幸 (富士通), 佐伯元司 (東工大), 榎本 肇 (芝浦工大)  
〔概要〕 仕様記述プロセスの部分機能を明らかにし, その一つである validation の一手法を提案する。

## ◆ 第24回 プログラミング言語研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 箕 捷彦, 幹事: 上田和紀, 徳田雄洋, 戸村 哲)

日 時 平成2年2月9日(金) 10:00~17:30

会 場 筑波大学 大学会館 会議室

(つくば市天王台 1-1-1, JR (常磐線): 荒川沖 (東口) 下車, 関鉄バス (筑波大学中央行き): 大学会館前下車 (約40分) または, 常磐高速バス (東京駅八重洲口—つくばセンター行き): つくばセンター下車 (約60分), 関鉄バス (筑波大学中央行き): 大学会館前下車 (約15分). Tel. 0298 (53) 5388)

## 議 題 特集: 関数的プログラミング

- (1) 並列プログラミング言語 SERVE 広谷良彰, 福田 晃, 村上和彰, 富田眞治 (九大)  
〔概要〕 メッセージ指向の並列プログラミング言語 SERVE の機能と処理系について概説し, その記述性を検討する。
- (2) E-R モデルに基づくソフトウェアデータベースの設計と実現 石原博史, 徳田雄洋 (東工大)  
〔概要〕 ソースコードが持つ各種関係を E-R モデルで記述した開発環境用ソフトウェアデータベースを設計し実現する。
- (3) プロセス間でのメッセージ交換を用いた項書き換え系のリダクション 布川博士, 野口正一 (東北大)  
〔概要〕 関数的なプログラミング言語の抽象インタプリタである項書き換え系のリダクションを, メッセージ交換で実行する方式を述べる。
- (4) 表明付き項書き換え系によるストリームプログラミング 古賀信哉, 矢野博之, 布川博士, 野口正一 (東北大)  
〔概要〕 戦略の表明を持つ項書き換え系を用い, トークンモデルに基づくストリームの記述とその応用について報告する。
- (5) 分散型システムの仕様記述と設計支援への関数型プログラミング言語の応用 荒木啓二郎 (九大)  
〔概要〕 分散型システムの性質の証明や設計を行う M. Broy の方法を適用した事例とその応用について報告する。

\* 今回の研究会は電子情報通信学会 (ソフトウェアサイエンス研究会) と日本ソフトウェア科学会 (関数的プログラミング研究会) との共催で開催されます。上記会告は, 12月11日現在の申し込みによるもので上記期日以降の申し込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌1月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ 第9回 コンピュータと教育研究会

(発表件数：4件)

(主査：有山正孝，幹事：雨宮幸雄，大槻説乎，竹谷 誠)

日 時 平成2年2月15日(木) 13:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車，JR：浜松町下車，バス：渋谷-東京タワー線東京タワー，渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車。Tel. 03 (434) 8211]

議 題

「企業人を対象とした SE 教育のあり方」

情報処理技術者の中で現在最も不足しているのが、システムズエンジニア(SE)で、しかもその不足は今後ますます深刻になっていくと予測されており、情報処理技術者の育成の焦点はSEに定めざるを得なくなっている。その為、一般企業や情報サービス産業の要員教育および国や団体の教育施策もSE育成に重点が移ってきており、その結果、SEの量的拡大と質的向上を目指した新しいSE教育の展開がめだってきている。今回の研究発表会では一般企業と情報サービス産業会社の先駆的SE教育の3つの事例の発表、および通産省が中心になって推進している地域企業内研修リーダー養成コースと地域ソフトウェアセンターでのSE教育の標準カリキュラムの発表を行う。

- (1) JBAにおけるSE教育の展開 関口博敏(JBA)
- (2) 花王システム工科大学におけるSE教育 橋山真人(花王)
- (3) HI(ハイレベル)-SE教育の背景とコース内容 綿田 弘(住友金属)
- (4) 地域企業内研修リーダー養成コースの内容と地域ソフトウェアセンターでのSE教育カリキュラム 江村潤朗(IPA)

◆ 第59回 マイクロコンピュータとワークステーション研究会

(発表件数：5件)

(主査：若鳥陸夫，幹事：水治義弘，森本陽二郎，山田 剛)

日 時 平成2年2月20日(火) 13:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室(所在地は前記参照)

議 題

- (1) ユーザから見たコンピュータ・ネットワーク 田中二郎(慶大)  
[概要] 一般ユーザがコンピュータ・ネットワークに対して求めること、また、注意すべきことを述べる。
- (2) 研究用LANの一構成例 一電総研情報共用LANの構成 小方一郎，菅原保雄，大島正教(電総研)  
[概要] 電総研情報部門では、ワークステーションの導入の激増に対応して、段階的にネットワークを拡充してきた。このネットワークについて紹介する。
- (3) ネットワークにおける多重化と並列化の比較 坂本康治，鈴木基史，岡田義邦(電総研)  
[概要] 複数バスによりネットワークを高速化する多重化と並列化について、これらの性能比較を行う。
- (4) LANの意義と可能性について 東 貴彦(ネットワンシステムズ)  
[概要] LANの構成要素と通信サービスを実現するソフトウェア構成をNet/Oneを例にとって説明する。
- (5) ELIS-8200のネットワーク機能 中山千代美，山崎徹也，大江哲男，長坂 篤(沖電気)  
[概要] LispマシンELIS-8200のTCP/IP，NFSを初めとするネットワーク機能について報告する。

◆ 第51回 設計自動化研究会

(発表件数：9件)

(主査：平川和之，幹事：数馬好和，神戸尚志，山田輝彦)

日 時 平成2年2月20日(火) 9:50~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 1号室(所在地は前記参照)

議 題

—9:50~11:50—

- (1) アナログセル自動配置手法 小池恵一(NTT)  
[概要] アナログ配置問題において電気的特性を考慮した制約を加えることで高品質な配置を得る手法を考案した。

## (2) 目標計画法に基づくゲート敷き詰め型ゲートアレイ用配置最適化アルゴリズム

村方正美, 高良 香, 五十嵐睦典, 三橋 隆 (東芝)

〔概要〕 配置問題を多目的最適化問題として扱い, 目標計画法に基づく手法により効率的に最適化する方法を提案する。

## (3) 階層化による AR 配置手法の高速化

平島美久太, 上田和宏 (芝浦工大)

〔概要〕 AR 配置手法において, モジュールのグループ化により処理時間を短縮し, また処理できる回路の規模も拡大した。

—12:50~17:00—

## (4) グリッドレススイッチボックスルータの一手法

岡田時仁, 神戸尚志 (シャープ)

〔概要〕 スwitchボックスにおいて効率的に配線を行うため, グリッドレスでこれを実現する方法について述べる。

## (5) 電子線描画データ変換システムにおけるデータ圧縮法

鈴木俊夫, 杉山俊樹 (日立)

島田 豊, 浅沼利文, 岡 佑一 (日立コンピュータエンジニアリング)

〔概要〕 LSI マスクパターン内の同一パターンの繰返し性に着目した電子線描画データ変換システムにおけるデータ圧縮法。

## (6) 論理式を分離加法形式で表現する一手法

松田秀雄, 宮腰 隆 (富山大)

〔概要〕 多値入力二値出力関数を分離加法形式で表現する一手法を提案し, 既知の木形アルゴリズムと比較検討する。

## (7) 論理式単純化の一手法 一部分マップ法一

宮腰 隆, 松田秀雄 (富山大)

〔概要〕 二値論理関数単純化の一手法, 部分マップ法を多値入力二値関数の単純化へ拡張した結果について述べる。

## (8) ブール式を要求駆動で評価する RT レベルシミュレーション

高橋隆一 (日電)

〔概要〕 表題のシミュレーション手法および2通りの実施例: 1. C言語への翻訳, 2. 構造体のトラバースを紹介して議論する。

## (9) 複数のアルゴリズムを実行する専用プロセッサのアーキテクチャ設計

池永 剛, 白井克彦 (早大)

〔概要〕 設計支援システムを用いた複数アルゴリズムを実行する専用プロセッサのアーキテクチャ設計について述べる。

## ◆ 第46回 オペレーティング・システム研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 亀田壽夫, 幹事: 川島幸之助, 村松 洋)

日 時 平成2年2月23日(金) 13:10~16:50

会 場 機械振興会館 6階 65号室(所在地は前記参照)

議 題 特集: システム性能評価

## (1) 複数の浮動小数点方式を処理する OS/omicron と言語C処理系 CAT/N の評価

中原雅彦, 岡野裕之, 横関 隆, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)

〔概要〕 1つのマシン上で複数の浮動小数点方式を扱える OS と言語 C コンパイラの方式設計とその評価について述べる。

## (2) メッセージ交換型システムのスループット評価

小松俊夫, 野瀬純郎 (NTT)

〔概要〕 メッセージ交換型システムのスループットをシミュレーションにより評価した。言語は SLAM II を使用。

## (3) 動的再配置モデルの解析

紀 一誠 (日電)

〔概要〕 メモリコンパクション機能を用いた主記憶領域制御方式のモデル化と解析。厳密解による特性把握と近似解法の提案。

## (4) モジュール分割による並列化プログラムの並列性の解析

菊地重昭 (東北工大), 白鳥則郎, 宮崎正俊 (東北大)

〔概要〕 プログラムをモジュールと称する単位のサブプログラムに分割し並列化するシステムの解析と評価。

(5) LAN 通信システムの1中継局を含むポイント-ポイントの平均応答時間の近似解析

中村奉夫, 海老原義彦 (筑波大)

〔概要〕 高速 LAN 通信システム網間結合で1中継局を含むポイント-ポイントの平均応答時間の近似解析を述べる。

### ◆ 第43回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数: 9件)

(主査: 川合 慧, 幹事: 宇野 栄, 中嶋正之, 守屋慎次)

日 時 平成2年2月23日(金) 10:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)

議 題 -10:00~12:00-

(1) CAPE (産業へのコンピュータ応用) 国際会議報告 木村文彦, 鈴木宏正 (東大)

〔概要〕 1989年10月に東京で開催された IFIP・TC5 による CAPE 国際会議の概要を報告する。

(2) マルチプロセスによるマルチスレッド対話型ユーザインタフェースの設計

宮武明義 (詫間電波高専), 今宮淳美 (山梨大)

〔概要〕 マルチスレッド対話を効果的に実現する, ユーザインタフェースとアプリケーションの構成を提案し, 試作する。

(3) 知識利用によるユーザ適応 UIMS

大矢剛史, 今宮淳美 (山梨大)

〔概要〕 ユーザの履歴を解析しながら各ユーザに適応する対話技法を提供する UIMS。

-13:00~17:00-

(4) グラフィクス技術の医療への応用

古旗健太郎 (東芝メディカル), 周道安造 (東芝)

〔概要〕 グラフィクス技術を医療における手術計画へ応用する事は重要である。本報告ではその応用例を紹介する。

#### 小特集: CG ハードウェア

(5) 3次元グラフィックス動画システム CUBE

前信 潔, 大木 健, 脇 康, 若山順彦, 西澤貞次 (松下電器)

〔概要〕 隠れ面処理・シェーディングプロセッサ HSP を用いた実時間動画システムのアーキテクチャについて述べる。

(6) ステレオグラフィックスを用いた仮想空間操作環境について

竹村治雄, 伴野 明, 岸野文郎 (ATR)

〔概要〕 両眼立像視と CG を用いた三次元仮想空間操作環境の試作とその環境での力フィードバックについて述べる。

(7) グラフィックディスプレイのベクトル描画の等速化

長島健二, 西口隆也, 加井隆重 (ダイキン)

〔概要〕 グラフィックディスプレイでのランダムベクトル描画で, 描画方向によらず等速化した機構につき紹介する。

(8) 超高解像度グラフィック

田村 清 (日本無線)

〔概要〕 地図情報処理や医療画像などの分野で要求される走査線数 2048 本の超高解像度表示技術の紹介。

(9) グラフィックディスプレイにおける高速ラインスムージングの実現

島田善夫, 立道孝臣, 中井恒雄 (セイコー電子), 嶋田博明 (日本ユニシス)

〔概要〕 品位の高いラインスムージングの手法とその実現方法について述べる。

### ◆ 第2回 音楽情報科学研究グループ

(発表件数: 4件)

(主査: 平田圭二, 幹事: 鈴木 孝, 増井誠生, 志村 哲)

日 時 平成2年2月11日(日) 13:00~16:00

会 場 東京農工大学 工学部 数理情報工学科棟 1階1E室

(東京都小金井市中町 2-24-16, JR (中央線): 東小金井 (南口) 下車, 徒歩 7 分. Tel. 0423 (81) 4221 内 529 高田正之)

## 議 題

- (1) 楽譜エディタの定量的評価の試み 渡邊哲史 (農工大)  
 (概要) 測定したキーストローク情報から楽譜エディタ (emucom) のユーザモデルを考える.
- (2) モチーフをもとにした自動作曲 西岡大祐 (農工大)  
 (概要) 与えられたモチーフから, 変形知識をもとにして自動作曲を行う.
- (3) 音と近世邦楽—三味線音の構造とその聴覚的効果の考察 矢向正人 (東京芸大)  
 (概要) 楽器音のノイズ成分は音楽構造の決定に何をもたらすか? 三味線を例にとり音響学的かつ美学的に考察する.
- (4) 「指揮法を用いた演奏制御システム」の近況報告 森田秀之, 大照 完 (早大), 橋本周司 (東邦大)  
 (概要) 指揮法を実時間で理解する「視覚」を持ち, 自動演奏を人が指揮することができるコンピュータ音楽システムの近況報告.

~~~~~  
 \*下記 3 月開催の研究会についての詳細は次号 (2 月号) をご参照ください.

### ◆ 人文科学とコンピュータ研究会

第 4 回 研究会を下記のとおり開催いたします. 奮ってご参加ください.

日 時 平成 2 年 3 月 9 日 (金) 10:00~17:00

会 場 東京国立博物館 (上野)

特 集 博物館とコンピュータ

### ◆ ヒューマンインタフェース研究会

第 29 回 研究会を下記のとおり開催いたします. 関連研究施設の見学も行いますので, 奮ってご参加ください.

日 時 平成 2 年 3 月 9 日 (金) 13:10~17:30

会 場 ATR (京都府相楽郡精華町)

## 議 題

- (1) A Design of Malay Word Processor R. B. Fakeh, M. Yoneda, H. Hase, M. Sakai (Toyama Univ.)
- (2) 打鍵速度制御型タイピング教育システム—有効性の検討—  
村田俊和, 竹田尚彦, 河合和久, 大岩 元 (豊橋技科大)
- (3) 文書情報の蓄積検索システムに関する検討 宮原末治, 鈴木 章, 多田俊吉, 壁谷喜義 (NTT)
- (4) 発散的思考の計算機支援 渡部 勇 (富士通)
- (5) 複合グラフ描画における全体と詳細を同時に見せる遠近画法 三末和男, 杉山公造 (富士通)
- (6) 見学① ATR 視聴覚機構研究所
- (7) 見学② ATR 通信システム研究所 (仮想会議臨場感システム)

### ◆ 情報システム研究会

第 28 回 研究会は下記のとおり会場変更になりました.

日 時 平成 2 年 3 月 20 日 (火)

会 場 慶応大学 (日吉) 情報センター (AV ホール)

第 29 回 研究会を下記のとおり開催いたします. 多くの方の発表をお待ちしております. 奮ってご応募ください.

発表をご希望の方は, 研究会発表申込書に発表題目と発表者名, 50 字以内の概要を記入のうえ, 2 月 26 日 (月) までに学会事務局研究会担当までお申し込みください.

日 時 平成2年5月15日(火) 13:00~(予定)

会 場 東京(会場未定)

特 集 **情報システムにおけるユーザインタフェース**

トピックス: 情報システムにおける人間と機械あるいは人間と人間の間のインタフェースの課題, 具体的な事例と評価など.

キーワード: ユーザインタフェース, マンマシンインタフェース, ビジュアルインタフェース, 自然語や音声の入力/出力, インテリジェント化, AI の応用, ファジー応用, プレゼンテーション技法, マニュアル書法など.

◆ **コンピュータと教育研究会**

第10回 研究会は電子情報通信学会(教育工学研究会), 人工知能学会(知識ベースシステム研究会), CAI 学会, 日本教育工学会との共催で下記のとおり開催いたしますので, 奮ってご発表ください. 発表をご希望の方は研究会発表申込書に題目と50字以内の概要を記入のうえ, 学会事務局研究会担当までお申込みください.

開 催 日 平成2年4月21日(土)

会 場 東京(会場未定)

テ ー マ **知的 CAI** (認知科学を含む)

## 平成2年度会費および論文誌・欧文誌購読費の納入について

明けましておめでとうございます. 本年は学会創立30周年を迎え各種の記念事業を行いますので, 奮ってご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます.

早速ですが, 平成2年度会費および購読費の納付書(郵便振替用紙)を1月下旬に発送いたしますので, 納入かたよろしくようお願い申し上げます.(会費, 購読費は元年度と同じで置き.)

|     |             |                          |
|-----|-------------|--------------------------|
| 会 費 | 正会員 9,600 円 | 学生会員 4,800 円 (大学院修士課程まで) |
| 購読費 | 論文誌 4,500 円 | 欧文誌 3,000 円              |

申すまでもありませんが, 会費は前納を建て前としておりますので, 3月末までに率先して納入いただきたく存じます.

ただし, 元年度購読費滞納の方には, 別途各自にその旨連絡いたしました, 2月13日までに未納の場合には, 3月号から学会誌および購読誌の送付をストップいたしますので, 早急にご納入ください.(会費滞納者は9月号から学会誌・購読誌の送付をストップしております.)

また, 「論文誌」(月刊)および「欧文誌」(季刊)は有料頒布です. まだ購読されていない会員は本年から購読されることをお勧めします. 新規購読希望の方はその旨振替用紙通信欄にご記入くださるか, 12月号本欄添付の購読申込書によりお申込みください.

〔自動振替納入利用の会員へ〕

会費および購読費を3月27日に振替えますので, その前に預金残高を確認いただき, 振替不足にならぬようにご留意ください. なお, 振替金額は3月上旬にご通知いたします. 振替えされた場合には預金通帳の摘要欄に「ダイヤモンドファクター」または「コウザフリカエ」と印字されますのでご確認ください.

## 本会協賛等の行事案内\*

ボード・コンピュータ'90

平成2年2月28日(水)~3月2日(金)

サンシャインシティコンベンションセンター TOKYO

第2回 マイクロマシンシンポジウム

平成2年3月14日(水)

東京・機械振興会館

講習会「生物の脳と情報処理」

平成2年5月25日(金)

東京大学山上会館

第5回 産業における画像センシング技術シンポジウム

平成2年6月5日(火)~6日(水)

東京・コクヨホール

\* 詳細は本号会議案内欄参照



## 創立 30 周年記念第 40 回全国大会（平成 2 年前期） 概要および論文集予約

- 開催期日** 平成 2 年 3 月 13 日(火)～16 日(金)  
「記念講演会」
- 会場** 平成 2 年 3 月 13 日(火)  
早稲田大学大隈講堂（新宿区早稲田 1-6-1）
- 参加費** 無 料  
第 40 回全国大会
- 会場** 平成 2 年 3 月 14 日(火)～16 日(金)  
早稲田大学理工学部（新宿区大久保 3-4-1）
- 参加費**  
一般参加者 大会当日会場にて受付けます（登壇論文発表者を除く）。賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。電子情報通信・電気・照明・テレビジョン各学会会員は本学会会員扱いとします。  
会 員 1,000 円 非会員 2,000 円
- 論文集予約** 予約を原則とします。前号綴込みの申込書により、2 月 5 日(月)までに事務局へお申込みください。  
予約価 5,000 円（定価 6,000 円） 送料 950 円  
（予約者以外にお頒けできるのは、大会当日残部のある場合に限りです）
- プログラム** プログラムの詳細は 2 月号に掲載されます。とくに登壇発表者は、発表の日時につき、ご確認ください。
- 記念講演 1** (3 月 13 日 10:15～11:45)  
「Overview of Information Network in 21 Century」 Ellen M. Hancock (IBM)
- 記念講演 2** (3 月 13 日 13:15～14:15)  
「今後の情報産業の発展について（仮題）」 唐津 一（東海大）
- 記念パネル討論**  
(3 月 13 日 14:30～16:30)  
「日本における情報処理教育のあり方（仮題）」 司会 野口 正一（東北大）
- 特別講演** (3 月 14 日 10:30～11:30)  
「コンピュータ犯罪（仮題）」 那野 比古（科学技術ジャーナリスト）
- パネル討論** (2 件)  
(3 月 15 日 12:30～14:30)  
「真のニューロコンピュータへのアプローチ（仮題）」 司会 福島 邦彦（阪大）  
(3 月 15 日 12:30～14:30)  
「マルチメディア対話インタフェースを“哲学”する」 司会 田村浩一郎（電総研）
- 一般セッション** (論文発表申込 817 件)
- 学術奨励賞の表彰** 前回（第 39 回）全国大会学術奨励賞受賞者の表彰を本大会時に行います。

## 第 41 回 全国大会（平成 2 年後期）の開催について

平成 2 年度秋の第 41 回全国大会は下記により開催される予定です。大会実施要領は 3 月号本欄に掲載されますので、ご注意ください。

- 日時** 平成 2 年 9 月 4 日(火)～6 日(木)  
**場所** 東北大学教養部（仙台市青葉区川内）

## CALL FOR PAPERS

### IFIP TC 5/WG 5.10 Working Conference on Modeling in Computer Graphics

**開催場所** 山上会館（東京大学内）  
**開催日** 1991年4月8日～12日  
**論文提出期限** 1990年6月30日  
**論文送付先** プログラム委員長 國井利泰  
113 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学理学部情報科学科  
Tel. 03 (812) 2111 内 4116 FAX 03 (818) 4607  
E-mail b39756 @ tansei. cc. u-tokyo. ac. jp

**論文の形態** 英文ダブルスペース 5,000語以内（5部）

論文募集の内容は以下のとおり（ただしそれに限りません）

- |                          |                        |                           |
|--------------------------|------------------------|---------------------------|
| (理論的側面)                  | • Topological Modeling | • Geometrical Modeling    |
| • Computational Geometry | • Curves and Surfaces  | • Rendering Models        |
| • 4D Modeling            | • Visual Algorithms    | • Texture                 |
| (アプリケーション)               | • Standardization      | • Computer Animation      |
| • Medicine               | • CAD/CAM/CAE          | • User Interface          |
| • CASE                   | • Pictorial Data Model | • Spatial Data Management |

### 論文賞候補の論文推薦のお願い

平成元年度論文賞の候補論文を推薦される会員は、下記事項を参考のうえ、論文の題名、著者名、掲載巻号、論文の専門分野、推薦理由および推薦者住所氏名を官製はがきに記入のうえ、本会論文賞係宛お送りください。

#### 論文選定条件

- 1. 選定範囲および推薦数**  
昭和63年10月から平成元年9月までの間に「情報処理学会論文誌」(Vol. 29, No. 10～Vol. 30, No. 9) および「Journal of INFORMATION PROCESSING」(Vol. 11, No. 3～Vol. 12, No. 2) に発表された論文の中から1編。
- 2. 推薦資格**  
本会正会員に限ります。
- 3. 締切日**  
平成2年1月31日（水）

#### 表彰規程（抜粋）

##### 第3章 論文賞

- 第9条** 論文賞は、本会の機関誌に発表された論文のうちとくに優秀なものを選び、その著者に贈呈する。
- 第10条** 表彰する論文は、原則として毎年4編とするが、編数は事情により変更することができる。
- 第11条** 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前前年の10月から前年の9月までの間に発表されたものであることを要する。
- 第12条** 表彰する論文が共著の場合は、共著者全員を表彰する。
- 第13条** 論文賞は、同一著者に重ねて授賞しても差支えない。
- 第14条** 論文賞は、賞状、賞牌および賞金とする。賞金は、論文1編につき30,000円とする。

## 支部だより

### 中部支部 講演会

日 時 平成2年1月19日(金) 9:15~10:15  
 会 場 岐阜大学工学部 201 教室 (岐阜市柳戸 1-1)  
 演 題 人工知能と認知科学 太原 育夫 (東理大)  
 参加費 無 料 (参加資格は問いません)  
 問合せ先 岐阜大学工学部電子情報工学科 神保雅一 Tel. 0582 (30) 1111  
 (お詫び) 上記講演会は1月12日(金)に開催予定でしたが、都合により1月19日(金)に変更いたしました。当日大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫びします。

日 時 平成2年1月26日(金) 14:00~15:00  
 会 場 (株)PFU 石川開発センター (石川県河北郡宇ノ気町宇字ノ気ヌ 98-2)  
 演 題 良いソフトウェアの作り方 中島 玲二 (京大)  
 参加費 無 料 (参加資格は問いません)  
 問合せ先 (株)PFU 山本浩一郎 Tel. 0762 (83) 1212

日 時 平成2年2月9日(金) 13:15~15:00  
 会 場 富山大学工学部大会議室 (富山市五福 3190)  
 演 題 高速高精度認識システムのアーキテクチャ 阿曾 弘具 (東北大)  
 参加費 無 料 (参加資格は問いません)  
 問合せ先 富山大学工学部電子情報工学科 米田政明 Tel. 0764 (41) 1271

日 時 平成2年3月6日(火) 14:00~16:00  
 会 場 中部電力(株)本店 中電ビル本館5階 5-1 会議室 (名古屋市東区東新町 1)  
 演 題 OS/2 の概要と今後の展望 岡崎 正一 (三菱電機)  
 参加費 無 料 (参加資格は問いません)  
 問合せ先 情報処理学会中部支部 Tel. 052 (204) 4517  
 \* 講演会終了後 (16:00~17:00)、中央給電指令所の見学会を実施します。

### 関西支部 第2回 ソフトウェア研究会

日 時 平成2年2月5日(月) 13:20~17:00  
 会 場 (財)関西情報センター会議室 (大阪市北区梅田1丁目3番1-800号, 大阪駅前第1ビル8階)  
 定 員 50名 (資料代600円)  
 問合せ先 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2543  
 プログラム テーマ「統計と多変量解析プログラムの最近の動向」  
 (1) 多変量解析の将来 (仮題) 家本 修 (梅花短大)  
 (2) (未 定) 米谷 淳 (奈良大)  
 (3) 薬学領域で用いられる多変量解析とそのソフトウェアについて (仮題) 高木 達也 (阪大)

### 中国支部 講演会

日 時 平成2年1月24日(水) 14:00~15:00  
 会 場 広島市工業技術センター3階研修室 (広島市中区千田町 3-8-24)  
 演 題 ファジィ制御応用の着眼点 松山 博 (立石電機)  
 参加費 無 料 (参加資格は問いません)  
 問合せ先 情報処理学会中国支部 Tle. 0824 (22) 7111 (内 3443)